

2022(令和4)年11月

習志野市男女共同参画社会づくり情報紙

第54号

きら *Kira Kira* きら

特集 事業支援×ブックカフェ
～本業を生かしていきいきと働く～

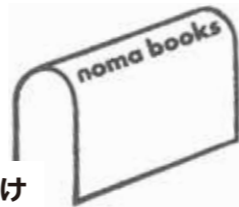


本業を行いながら第2の活動を行う「パラレルキャリア」という働き方を知っていますか。多様な働き方を知ることで本業だけでは得られなかった新たな視点に気づくことができるのではないのでしょうか。

事業支援という本業を持ちながら、ブックカフェをオープンし、本業で得た経験や人脈を生かして働いている noma books 馬渡あかねさん取材しました。

私の働き方

～noma books 馬渡あかねさん～



馬渡あかねさん（54歳）
中小企業（飲食・小売業）の支援事業に30年以上携わる。本業である事業支援を行いつつ、幼い頃からの夢であった「本屋」と「カフェ」を融合したブックカフェ「noma books」を開店し、毎日いきいきと働いている。

noma books を始めたきっかけ

将来の姿を想像して…

長年事業支援に携わり、人の会社を良くすることに取り組んできましたが、自分の将来を考えたときに、事業支援を10年20年と続けるのはしんどいと感じ、「今何かをしておかなきゃ」という気持ちになりました。今度は自分で自分の会社を良くするのもいいのではないかと思っていたところに、大和屋書店さんが閉店することを知ったんです。私は本当に書店が好きだったので、大和屋書店の方の「どなたかバトンをつないでくれる方を探します」という一言に、“私ならつないで何かできるんじゃないか”という気持ちになり、何か新しいことを始めるなら書店がいいと思いました。

副業を始めるときの周囲の反応

誰も理解してくれないことこそ逆にチャンス

家族からは「絶対大変だと思う。今自分の持っている仕事もうまくいっているのに、あえて苦労する必要ないでしょう」と反対されました。ですが、「私はいける！」と自信があり、世の中が気づいていない何かに着目して、チャンスに変えようと挑戦することにしました。

ブックカフェにした経緯

本業を生かして

実は、大和屋書店さんにも取次店にも、「書店の経営は非常に厳しいので、やめておきなさい」と言われていたんです。実際に経営状況を見てみると、書店だけで経営を成り立たせるのはちょっと難しいと思いました。

でも私は、本業で飲食店の方と知り合いだったり、経営に関する知識もあったので、飲食店と組み合わせることで他店との差別化が図れるのではないかと考えました。

本業でお付き合いのあった人に、「ブックカフェをやりたいので協力してくれませんか」と言って、仕入先を見つけてもらい、現在提供しているカフェメニューが決まりました。

本業と副業の両立

リモート使用で書店にいる時間を有効活用

本業と書店の稼働の割合は書店が6割くらいでしょうか。本業は、クライアントの数を減らしながら、リモートを使って書店で仕事をしたり、仕事を仕上げた後にお店にきたりしています。個人でやっている仕事なので、時間をフレキシブルに使えます。

本業⇔副業で生かされること

副業を始めたことで自分以外にもメリットが

人の管理の仕方や事業計画の作り方、銀行からのお金の借り方など、今まで事業支援で培ったノウハウをすべて、このお店に注いでいます。逆に本業に生かされている点は、クライアントの会社で作っているスープやカレーをお店で提供しているので、お客様の感想をクライアントに返すことができます。そういう意味では win-win な関係を築けているのでよかったですと思っています。

店作りのこだわり

スタッフみんなで楽しみながらお店を作る

スタッフが15人いて、みんなで一緒に話し合いながら、コミックや絵本の選書・発注も手分けをして行っています。他にもパソコンが得意な人、写真が得意な人、空間デザインの勉強をしている人、マニュアル作りが上手い人など、各スタッフの得意なスキルを生かして店づくりをしています。カフェメニューは、試食しながらスタッフ同士で意見を出し合っています。

年齢、性別、経験、得意なことなどみんな異なりますが、スタッフはお店が好きだという共通点のもと、無理しすぎず、楽しみながらお店を作っていこうというスタンスでやっています。

書店の経営工夫

お客様に楽しんでいただくために

毎月テーマを変えた「企画展示」を行っており、さまざまな本を紹介しています。また、取次店を通して本を仕入れているので、本の入れ替えがしやすくなります。小さなお店なのでたくさん本を置けない分、常に新しい本を紹介するやり方にして、お客様に「来るたびに展示が変わっていて楽しい」と感じてもらいたいです。

書店部門のスタッフは大和屋書店さんから

カフェと書店があるので、スタッフはそれぞれのエキスパートが毎日2人ずつペアになるようにお店を運営しています。



企画展示の様子

若い方や地域の方が興味を持ちやすいテーマを取り上げるようにしている

書店のスタッフは大和屋書店さんのときから仕事をされている方が全員続けてくださっています。本業の知識でできることも多かったのですが、唯一本の管理の仕方などが分からなかったため、その分はサポートしてもらっています。

書店の存在意義

子ども達に本を選ぶ喜びの機会を

お店を始めるときに、書店の存在意義について自問自答しました。私自身、本が好きでたくさん読むので、ネットショップで買うこともあるのですが、皆さんも誰かの書評やランキングなどが気になり、どうしても選ぶ範囲が狭くなることがあると思います。しかし、本屋の醍醐味は、自分で直接手に取り選び、気に入った本を買うことだと感じています。子ども達には、自分で選ぶ楽しみや、新しい本との出会いを大切にしてほしい。そのきっかけがこのお店で生まれたいなと思っています。



本業があるうちに一步を踏み出す

安心感の中で挑戦できる

時代が大きく動いている今、これからどうなるかがわからない状況の中で、本業がありながら副業をすることは、安心感がありながらもやりたいことに挑戦できるというメリットがあります。私の場合はどちらの仕事にも良い影響があって、楽しく仕事ができています。これが今の私の働き方です。

～取材を通して～

本業で培った知識や人脈を生かして第二のキャリアを築き、相互に刺激を与えながら、今を楽しく生きている馬渡さんの姿を取材しました。働き方・生き方が多様化する現代で、パラレルキャリア（裏面 きらきらキーワード参照）への取り組みが注目されています。誰もがいきいきと働ける社会が広がるといいですね。

取材担当：高橋委員・仲野委員
noma books: 習志野市大久保 3-11-19 2階



noma books

令和4年5月、大久保商店街で100年続いた大和屋書店の跡地に新たにブックカフェとして営業開始。名前の由来は東“の間”の空間、東“の間”の時間をお客様にくつろいでいただきたいとの思いから、「～の間」という意味でnoma booksと名付けられた。大切な何かの時間、場所になったらという思いが込められている。事業所からの本の受注、配達も請け負っている。

◆男女共同参画コラム◆ **「包括的性教育」**

2009年、ユネスコは「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を作り、日本では2017年に翻訳されました。ガイダンスのキーコンセプトは①人間関係②価値観・人権・文化・セクシュアリティ③ジェンダーの理解④暴力と安全確保⑤健康と幸福のためのスキル⑥人間のからだと発達⑦セクシュアリティと性的行動⑧性と生殖に関する健康、と幅広いテーマを扱うこととしています。ジェンダー、男女差別の解消、人権、人間のからだなどの教育について、海外では幼いころから学んでいる国もありますが、日本では中高生になってからの一部の知識教育となっています。日本も各年代に合った自然な形での教育は必要と思われます。自分と異なるものを排除するのではなく、それぞれの個性と自由を尊重し認め合って、皆が健康で幸福に生きられる社会になることを願っています。(宍倉委員)

11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です!

＜パープルリボン運動＞

配偶者やパートナーからの暴力、性犯罪・性暴力、セクハラなどは決して許されない行為です。

女性に対する**暴力の根絶**と被害者へ「**悩まず相談してほしい**」というメッセージを込めて、この活動のシンボルであるパープルリボンにちなみ、市役所のハミング階段をパープルに装飾します。また、女性への暴力と児童虐待は密接な関係があることから、同期間で児童虐待防止月間（オレンジリボンキャンペーン）の装飾も行っております。それぞれのテーマに関連したパネル展示も行いますので、ぜひ足を運んでみてください

展示期間：11月14日から30日
（平日・市役所開庁時間のみ）
展示協力：（男女共同参画推進団体）

MayaMoon・ウィメンズ・ウィングちば



女性の生き方相談

*無料 *要予約 *秘密厳守 *市内在住・在勤・在学者対象

◎夫婦のこと ◎家族のこと ◎人間関係のこと ◎自分自身の生き方について ◎これはDV? (ドメスティック・バイオレンス) …など 初めての方も安心してご相談ください。

＜面接相談＞女性の専門相談員があなたと一緒に考えます。

日時：第1金曜 午後1時30分～3時10分・4時～7時40分
第2・4火曜、第3木曜、第3金曜 **1回40分**
午前9時～11時40分・午後0時30分～4時10分
申込：習志野市男女共同参画センター（ステップならしの）

きらきら★
キーワード 🔍 **パラレルキャリア**

オーストラリアの経営学者ピーター・F・ドラッカーによって提唱された言葉で、本業を持ちながら、第2の活動を行うことです。第2の活動に明確な定義はなく、別の企業へ就職する、ボランティア活動を通じて社会貢献をするなど、さまざまな活動を指します。本業だけでは得られないことが経験できたり、人脈が広がったりと、多様な働き方につながる、これからの社会での生き方の一つです。(佐藤委員)

編集委員の
おすすめ図書

ミルクとコロナ

著者：白岩 玄
山崎 ナオコーラ
河出書房新社 発行 2021年



ともに20代で文藝賞を同時受賞し、作家デビューしたお2人。現在、どちらも2人の幼い子どもを育てています。本書は、そんな2人が3年半にわたって、互いの喜びや痛みを柔らかく受け止めながら手紙をやりとりするように綴る、育児をめぐる往復エッセイです。それらは、コロナ以前とコロナ禍の育児記録に収まらず、日々の身の周りの出来事を通して「育児の責任感はどこから来るか」「コミュニケーションとは」「ニューノーマル(新しい生活様式)」など、様々な社会問題を考えるものになっています。負のイメージが先行するコロナ禍にも新しい可能性の広がりを信じて、2人は前向きに育児に奮闘しています。38のエピソードごとに2人が描き下ろした優しく温かなイラストも必見です。(S委員)

◆上記の本は男女共同参画センターで貸し出ししています◆

図書の貸し出しについて

*市内在住・在勤・在学者対象 *1回5冊まで、期間は2週間

市ホームページ内「**情報ライブラリ**」を検索し男女共同参画センター図書一覧から本を決定、ちば電子申請サービスまたはお電話でお申込みください。

きらきら編集委員募集中!

「きらきら」は、公募による編集委員と協働で企画・編集を行っています。編集会議は平日の月1回開催。見学は随時可能ですので、ご興味がある方は男女共同参画センターまでご連絡ください。

より良い紙面づくりのため、記事等に関するアンケートを実施しています。皆さんの率直なご意見・ご感想をお聞かせください。

【回答方法】右記のQRコードから回答してください。

